

# ほっかいどうの社会保障

2011年10月20日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 子ども医療費の拡充とワクチン接種への助成を！ 新婦人の会が道交渉

10月18日、「子ども医療費助成制度の拡充と子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌予防の3つのワクチン接種へ助成を求める」道交渉を行いました。



「昨年夫がリストラされ、今はパートで月9万円の収入。子どもが2人いるが安心して医療を受けられるようにしてほしい。次の子どもを生みたい」「子どもに重いアレルギーがあり、定期的に検査を受け薬も処方されているが所得制限があり助成を受けられない」など切実な思いを次々に発言。道は「皆さんの気持ちは充分わかりますが予算内ですすめている」と回答。

予防接種についても「これから生まれてくる子どもたちのためにも引き続き予算化し実施を」「自己負担になると受ける人がますます少なくなり大事な命を守れない」と訴えましたが、「定期的接種をすすめるよう国に求めている」など道独自の予算化には消極的な回答。

「交渉をこれからもどんどん続けてやっていくことが、運動を進めていく一歩だよ。がんばろうね！」と確認しあいました。

(「新日本婦人の会北海道本部」ニュースより)

## 子どもは社会の宝物

## 保育予算を増やして！

## 繁華街を子育てウォーキング

10月15日、札幌保育連絡会と札幌保育労組は、札幌大通公園で、国と札幌市に対する「保育請願署名」（子ども・子育て新システムを導入せず、保育、幼児教育、子育て支援、学童保育施策の拡充を求める署名）を訴えました。

その後、「公的保育の解体反対」「保育予算の増額」「保育士の給料、待遇改善を」などを訴え、すすきのまで「子育てウォーキング」をしました。

ウォーキングには、保育士や保護者、園児など120人が参加しました。



## 『笑顔でくらしたい』

2011.10月号

好評発売中!

目次から

◇特集 温もりある希望社会の実現へ  
今憲法を生かすとき

◇稚内市 医療福祉のまちづくりをめざして

◇アスベスト被害者の救済を

定期購読 1冊600円 (隔月発行)